

総合型選抜、学校推薦型選抜における「女子枠」の導入について

令和7年3月
九州大学

本学は、自律的な改革を継続し、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となることを基本理念としています。しかしながら、理工系学部における女性比率が世界有数の大学と比較して低い水準に留まっている現状があり、創造性と多様性を尊重する観点から、理工系学部への「女性枠」導入を検討してまいりました。

そこで、まずは女子学生の割合が著しく低い工学部において、多様性確保を目的とした取り組みの一環として、令和9年度の入学者選抜より「女子枠」を設けることとしました。

「材料工学科」「融合基礎工学科」においては総合型選抜により、また、「機械工学科」「量子物理工学科」においては学校推薦型選抜によりそれぞれ実施予定としています。

ジェンダーバランスの改善によって、新たな価値観、多様な視点が加わることによる新たな発見や気づき、発想の多様性など教育研究現場における様々な相乗効果が見込まれます。

また、これらの取り組みによって、将来の科学技術分野における女性の活躍促進に繋がることも期待されるところです。

参照：令和9年度（2027年度）以降の入学者選抜における変更について【工学部_一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜・私費外国人留学生入試（4月）・帰国生徒選抜】